

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 音楽 学科 音楽文化 専攻

出身高校名 三重県立伊勢高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、音楽の教師になりたいと考えています。同志社女子大学はマンツーマンのピアノや声楽のレッスンでスキルを高めながら教員の勉強が出来る所に惹かれました。また、2年次より現代子ども学科の授業を履修することで小学校教員の免許も取得できる所が音楽文化専攻ならではの魅力に感じました。オープンキャンパスに何度も足を運んだり夏期講習に参加したりした時に直接肌で感じたアットホームな雰囲気、施設の充実さから、音楽を学ぶ環境が整っている同志社女子大学で有意義な大学生活を送りたいと思ったからです。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は同志社女子大学を第一希望の学校としていたので、一つでも多く受験できる機会があるならば挑戦したいと思ったからです。また、AO入試では色々な表現方法で、どれだけ自分をアピールできるかが重要になってくると思います。自分自身についてや将来やりたいことなど、自分の現在、過去、未来と真剣に向き合う絶好の機会だと思い受験を決めました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は幼少期より習ってきたピアノを生かして将来は音楽の楽しさを人に教える立場として活動していきたいと思っていることをアピールしました。年に一度校内で行われるコーラス大会において、3年間ピアノ伴奏を務めたこと、全学年から数名しか選ばれない伴奏者賞を受賞したこと、どのようにしたらクラスの良さを引き出す事ができるのかを練習の段階から指揮者と積極的にコミュニケーションを取ったこと、そして、人をまとめること、指導することの難しさを痛感したことを伝えました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

一次審査で提出するものが本当に多かったのも、夏休みいっぱいかけ、それぞれ自分が納得する文章が作成できるまで何度も書き直しをしました。学校の先生、師事している先生、友人、家族に文章を読んでもらい沢山のアドバイスを頂きました。考えていることを文章にするのが難しく、イメージしやすいように冊子や参考書など様々な文献を参考にイメージを膨らませて文章にしていきました。

〔面接〕

面接官の目を見て笑顔で思ったことをハキハキと滑舌良く話すことを意識しました。面接ノートを作り、良かった点、悪かった点、次回の改善点を書き込みました。また、試験で想定できる質問を考え、それらに対する答えを箇条書きで書き、準備しておくことで頭の中で言いたいことが整理されたので良かったと思います。自分の話し方の癖を知ること大切だと思ったので面接練習の内容を録音して受け答えの改善をしました。実技は、早い段階から練習に取り組み、何度も人前で演奏する機会を設けてもらい経験を重ねることで、少しでも本番に慣れるようにしました。そうしたことで試験当日は落ち着いて、普段通り演奏できたと思います。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試で受験すると、入学前に先生方や先輩方にお話を聞く機会があったり、同じAO入試で受験した学部学科を超えた仲間と交流する場を設けてもらえます。自分とは違う考えや価値観など新しい刺激を早く受けることができるのもAO入試を推薦できる点だと思います。私も最初は不安だらけでしたが、沢山の人の支えられ、背中を押してもらったおかげで、今までやってきたことに自信を持って試験に挑むことが出来ました。緊張する相手にも臆せず、目を見て、自信を持って最後まで頑張りたい。応援しています！